

# 第四期特定健康診査等実施計画

---

## 電通健康保険組合

最終更新日：令和 6 年 03 月 29 日

## 特定健康診査等実施計画（令和6年度～令和11年度）

| 背景・現状・基本的な考え方【第3期データヘルス計画書 STEP2から自動反映】 |                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                       |
|-----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| No.1                                    | ・被保険者の特定保健指導の実施率が50%台と低い。<br>・特定保健指導の対象者が増加傾向にあり、その流入・流出をみるとリピート層、リバウンド層、検査値悪化層の割合が高い。                                                                                                                                                                                                | ➔<br>・特定保健指導の効果と重要性について加入事業所へ広報を強化し、就業時間内の特定保健指導受診について理解を得る。<br>・参加意欲をかきたてる魅力的で訴求力の高いプログラム、かつ体重減量等結果を追求するプログラムを追加する。                                                  |
| No.2                                    | 被扶養者の特定健診の実施率が6割程度と低い。<br>また、未実施者における3年連続未実施の岩盤層は26.7%存在する。                                                                                                                                                                                                                           | ➔<br>健診機関およびプランの充実で被扶養者が健診を受診しやすい環境を整備する。<br>わかりやすい健診の案内をする。                                                                                                          |
| No.3                                    | 被扶養者の特定保健指導実施率は目標の80%に対し、40%台であり極めて低い。                                                                                                                                                                                                                                                | ➔<br>・参加意欲をかきたてる魅力的で訴求力の高いプログラム、かつ体重減量等結果を追求するプログラムを追加し、プログラム数を増やす。                                                                                                   |
| No.4                                    | ・40歳未満の被保険者の保健指導域該当者も増加している。                                                                                                                                                                                                                                                          | ➔<br>・40歳未満の運動機会を創出するオンラインウォーキングイベントを企画する。<br>・健康意識を高め生活改善につながるコンテンツを提供する。                                                                                            |
| No.5                                    | ・年間医療費100万円以上の者の医療費の構成割合は、被保険者・被扶養者ともに新生物・循環器系疾患が高い。<br>・糖尿病、高血圧、脂質異常症の全てにおいて、30歳以上の実患者数が増加している。                                                                                                                                                                                      | ➔<br>・生活習慣病を未然に防止し、重症化を防ぐため<br>ハイリスクアプローチとして階層ごとに<br>1 要医療者の専門医への連携<br>2 腎症対策<br>3 特定保健指導 を強化する。<br>4 ポピュレーションアプローチとして、<br>ポータルサイトでのウォーキングイベントを企画する。<br>5 健康記事の配信を行う。 |
| No.6                                    | ・女性の医療費は被保険者、被扶養者共に女性特有の疾患によるものが25%を占めている。                                                                                                                                                                                                                                            | ➔<br>・女性特有の健康課題に関するセミナー等を開催し、アブセンティーズムの低減につなげる。<br>・がん検診実施率向上および要精密検査者が把握できる場合は追跡、受診勧奨をする。                                                                            |
| No.7                                    | ・特定保健指導対象者の2割が要医療者である。                                                                                                                                                                                                                                                                | ➔<br>・保健師の介入により専門医への確実な受診勧奨を行う。<br>・医療機関を受診してもらい、重症化を防ぐ。                                                                                                              |
| No.8                                    | ・健診結果で、2年連続、要医療者である者のうち未治療者が64%を占めている。<br>・2022年の健診結果の「生活機能低下群」と「重症化群」の前年の健診結果を確認すると「治療放置群」「患者予備群」が35名おり、未受診が原因で重症化した疑いがある。                                                                                                                                                           | ➔<br>保健師介入による受診勧奨で確実に専門医につなぐ。                                                                                                                                         |
| No.9                                    | ・2022年度健診結果における慢性腎臓病における中度リスク者は413名おり、その約8割が医療機関未受診である。<br>さらに、2021年度からの経年変化を確認すると、リスクなしもしくは低リスクからの中度リスクへの流入者が212名存在する。<br>・2018年以降5年間の経年変化を見ると、2型糖尿病治療中患者のうち、アンコントロール者の人数および割合が増加している。<br>・血糖において、2021年度健診時に「服薬あり」の者のうち、2022年度健診結果が「正常値」「予備群」の割合は21.8%と低く、コントロールできていない状態であることが推測される。 | ➔<br>・慢性腎臓病重症化予防プログラム、糖尿病性腎症予防プログラムを提供し、重症化を防ぐ。また状態の改善を目指す。<br>・保健師介入による糖尿病の専門医への受診勧奨を行う。また、糖尿病重症化予防プログラムを提供し、糖尿病の重症化を予防する。                                           |
| No.10                                   | 高血圧症の状態コントロール割合が7割と低い。                                                                                                                                                                                                                                                                | ➔<br>血圧の生活習慣改善通知の見直し。<br>健康エールでの血圧関係の配信数を増やす。<br>ポータルサイトで運動機会を創出<br>(ウォーキングイベント、スポーツクラブの案内)                                                                           |
| No.11                                   | ジェネリック使用による効果額は7600万円となっている。<br>被保険者は50代のジェネリック利用率が7割を下回っている。<br>被扶養者は0歳～19歳までの市区町村の医療費助成により本人負担がない層における削減期待額が大きい。                                                                                                                                                                    | ➔<br>・郵送による通知に加え、ポータルサイトでの差額通知<br>・健康エールでジェネリック医薬品についての配信を行う。                                                                                                         |
| No.12                                   | 歯科の長期未受診者が5割を超えている。                                                                                                                                                                                                                                                                   | ➔<br>・歯科健診による歯科受診機会の創出とかかりつけ医をもってもらう。<br>・歯科健診の事業対象を加入者全員に拡大する。                                                                                                       |
| No.13                                   | 男性被保険者の4人に1人が喫煙者である。                                                                                                                                                                                                                                                                  | ➔<br>禁煙プログラムを提供する。                                                                                                                                                    |
| No.14                                   | 運動や食事等の生活習慣改善意欲は、全国平均と比較し高い一方で、2019年以前と比較すると1日1時間以上の歩行をしている者の数は減少している。                                                                                                                                                                                                                | ➔<br>ポータルサイトを開設し、オンラインウォーキングラリーでウォーキングを楽しく習慣化する。<br>ポータルサイトや健保のLINEアカウントからスポーツクラブの案内を行う。                                                                              |
| No.15                                   | ・メンタル実患者数は2021年2022年と増加している。<br>・被保険者においては、男性、女性ともに全ての年代で実患者数が2020年比較して増加している。                                                                                                                                                                                                        | ➔<br>・ポピュレーションアプローチとして、こころの健康づくりのためのオンラインセミナーを開催する。<br>・健康相談ダイヤルを提供する。                                                                                                |

### 基本的な考え方（任意）

-

### 特定健診・特定保健指導の事業計画【第3期データヘルス計画書 STEP3から自動反映】

## 1 事業名 社員の健康診断（1－㉑）

対応する  
健康課題番号

No.5 , No.6



## 事業の概要

|    |                                    |
|----|------------------------------------|
| 対象 | 対象事業所：全て、性別：男女、年齢：30～74、対象者分類：被保険者 |
| 方法 | -                                  |
| 体制 | -                                  |

## 事業目標

|                                          |            |      |      |      |      |       |       |
|------------------------------------------|------------|------|------|------|------|-------|-------|
| 健診の実施率向上により加入者の行動変容を促進し、生活習慣病の予防及び改善を図る。 |            |      |      |      |      |       |       |
| 評価指標                                     | アウトカム指標    | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | R11年度 |
|                                          | 定期健診受診率    | 90 % | 90 % | 90 % | 90 % | 90 %  | 90 %  |
|                                          | アウトプット指標   | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | R11年度 |
|                                          | 健診の進捗状況を確認 | 1回   | 1回   | 1回   | 1回   | 1回    | 1回    |

## 実施計画

| R6年度                                          | R7年度                                          | R8年度                                          |
|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| ・事業主と共同実施。・がん検診（大腸、胃、肺、前立腺、乳がん、子宮頸がん）もあわせて実施。 | ・事業主と共同実施。・がん検診（大腸、胃、肺、前立腺、乳がん、子宮頸がん）もあわせて実施。 | ・事業主と共同実施。・がん検診（大腸、胃、肺、前立腺、乳がん、子宮頸がん）もあわせて実施。 |
| R9年度                                          | R10年度                                         | R11年度                                         |
| ・事業主と共同実施。・がん検診（大腸、胃、肺、前立腺、乳がん、子宮頸がん）もあわせて実施。 | ・事業主と共同実施。・がん検診（大腸、胃、肺、前立腺、乳がん、子宮頸がん）もあわせて実施。 | ・事業主と共同実施。・がん検診（大腸、胃、肺、前立腺、乳がん、子宮頸がん）もあわせて実施。 |

## 2 事業名 特定保健指導（被保険者）（1－㉒）

対応する  
健康課題番号

No.1



## 事業の概要

|    |                                                                 |
|----|-----------------------------------------------------------------|
| 対象 | 対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：基準該当者                             |
| 方法 | ・特定健診結果に基づく特定保健指導の対象者に対して、<br>契約医療機関等の医師及び保健師等を活用して特定保健指導を実施する。 |
| 体制 | -                                                               |

## 事業目標

|                                                          |                        |      |      |      |      |       |       |
|----------------------------------------------------------|------------------------|------|------|------|------|-------|-------|
| 特定保健指導実施率向上による生活習慣病のリスク保持者の生活習慣と健康状態を改善し、循環器系医療費の削減を目指す。 |                        |      |      |      |      |       |       |
| 評価指標                                                     | アウトカム指標                | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | R11年度 |
|                                                          | 特定保健指導対象者割合            | 19 % | 18 % | 17 % | 17 % | 17 %  | 17 %  |
|                                                          | 特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率 | 40 % | 40 % | 40 % | 40 % | 40 %  | 40 %  |
| 評価指標                                                     | アウトプット指標               | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | R11年度 |
|                                                          | 特定保健指導実施率              | 60 % | 60 % | 60 % | 60 % | 60 %  | 60 %  |

## 実施計画

| R6年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | R7年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | R8年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ・対象者へのご案内を複数回行う。・特定保健指導の未実施者に対して スマートフォン等ＩＣＴを活用した 特定保健指導を実施する。・体重2キロ減少の効果が高く、完了率 が高い特定保健指導プログラムを選定 し、追加することで、対象者の選択肢を増やし、より効果的なプログラムを 提供する。・糖尿病重症化予防・腎臓病予防プログラムの対象者が特定保健指導の対象者である場合は、プログラム内で特定保健 指導が実施完了するようプログラムを 策定する。・加入事業所（産業保健体制）との共同 実施（コラボヘルス）を活用した特定 保健指導の実施動奨を行う。・就業時間中に特定保健指導が受けられる よう事業主による配慮について協力を 要請する。・特定保健指導が中断している者に対し て、健保組合から連絡し、最後まで保健 指導を継続して受けるように働きかけ る。 | ・対象者へのご案内を複数回行う。・特定保健指導の未実施者に対して スマートフォン等ＩＣＴを活用した 特定保健指導を実施する。・体重2キロ減少の効果が高く、完了率 が高い特定保健指導プログラムを選定 し、追加することで、対象者の選択肢を増やし、より効果的なプログラムを 提供する。・糖尿病重症化予防・腎臓病予防プログラムの対象者が特定保健指導の対象者である場合は、プログラム内で特定保健 指導が実施完了するようプログラムを 策定する。・加入事業所（産業保健体制）との共同 実施（コラボヘルス）を活用した特定 保健指導の実施動奨を行う。・就業時間中に特定保健指導が受けられる よう事業主による配慮について協力を 要請する。・特定保健指導が中断している者に対し て、健保組合から連絡し、最後まで保健 指導を継続して受けるように働きかけ る。 | ・対象者へのご案内を複数回行う。・特定保健指導の未実施者に対して スマートフォン等ＩＣＴを活用した 特定保健指導を実施する。・体重2キロ減少の効果が高く、完了率 が高い特定保健指導プログラムを選定 し、追加することで、対象者の選択肢を増やし、より効果的なプログラムを 提供する。・糖尿病重症化予防・腎臓病予防プログラムの対象者が特定保健指導の対象者である場合は、プログラム内で特定保健 指導が実施完了するようプログラムを 策定する。・加入事業所（産業保健体制）との共同 実施（コラボヘルス）を活用した特定 保健指導の実施動奨を行う。・就業時間中に特定保健指導が受けられる よう事業主による配慮について協力を 要請する。・特定保健指導が中断している者に対し て、健保組合から連絡し、最後まで保健 指導を継続して受けるように働きかけ る。 |
| R9年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | R10年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | R11年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| ・対象者へのご案内を複数回行う。・特定保健指導の未実施者に対して スマートフォン等ＩＣＴを活用した 特定保健指導を実施する。・体重2キロ減少の効果が高く、完了率 が高い特定保健指導プログラムを選定 し、追加することで、対象者の選択肢を増やし、より効果的なプログラムを 提供する。・糖尿病重症化予防・腎臓病予防プログラムの対象者が特定保健指導の対象者である場合は、プログラム内で特定保健 指導が実施完了するようプログラムを 策定する。・加入事業所（産業保健体制）との共同 実施（コラボヘルス）を活用した特定 保健指導の実施動奨を行う。・就業時間中に特定保健指導が受けられる よう事業主による配慮について協力を 要請する。・特定保健指導が中断している者に対し て、健保組合から連絡し、最後まで保健 指導を継続して受けるように働きかけ る。 | ・対象者へのご案内を複数回行う。・特定保健指導の未実施者に対して スマートフォン等ＩＣＴを活用した 特定保健指導を実施する。・体重2キロ減少の効果が高く、完了率 が高い特定保健指導プログラムを選定 し、追加することで、対象者の選択肢を増やし、より効果的なプログラムを 提供する。・糖尿病重症化予防・腎臓病予防プログラムの対象者が特定保健指導の対象者である場合は、プログラム内で特定保健 指導が実施完了するようプログラムを 策定する。・加入事業所（産業保健体制）との共同 実施（コラボヘルス）を活用した特定 保健指導の実施動奨を行う。・就業時間中に特定保健指導が受けられる よう事業主による配慮について協力を 要請する。・特定保健指導が中断している者に対し て、健保組合から連絡し、最後まで保健 指導を継続して受けるように働きかけ る。 | ・対象者へのご案内を複数回行う。・特定保健指導の未実施者に対して スマートフォン等ＩＣＴを活用した 特定保健指導を実施する。・体重2キロ減少の効果が高く、完了率 が高い特定保健指導プログラムを選定 し、追加することで、対象者の選択肢を増やし、より効果的なプログラムを 提供する。・糖尿病重症化予防・腎臓病予防プログラムの対象者が特定保健指導の対象者である場合は、プログラム内で特定保健 指導が実施完了するようプログラムを 策定する。・加入事業所（産業保健体制）との共同 実施（コラボヘルス）を活用した特定 保健指導の実施動奨を行う。・就業時間中に特定保健指導が受けられる よう事業主による配慮について協力を 要請する。・特定保健指導が中断している者に対し て、健保組合から連絡し、最後まで保健 指導を継続して受けるように働きかけ る。 |

3 事業名 社員以外の健康診査（特定健診含む）（1ー㉔）

対応する健康課題番号 No.2 , No.7



事業の概要

|    |                                                      |
|----|------------------------------------------------------|
| 対象 | 対象事業所：全て、性別：男女、年齢：30～74、対象者分類：被扶養者/任意継続者/特例退職被保険者    |
| 方法 | 健診機関を144から約2000に拡充し、健診プランを追加、オンラインで健診機関や健診プランの検索が可能。 |
| 体制 | 2024年（R6年）4月より健診の予約を外部委託化。予約のデータ管理によりオンラインの受診勧奨が可能。  |

事業目標

|                                          |              |        |        |        |        |        |        |
|------------------------------------------|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 健診の実施率向上により加入者の行動変容を促進し、生活習慣病の予防及び改善を図る。 |              |        |        |        |        |        |        |
| 評価指標                                     | アウトカム指標      | R6年度   | R7年度   | R8年度   | R9年度   | R10年度  | R11年度  |
|                                          | 生活習慣リスク保有者率  | 30 %   | 29.5 % | 29 %   | 28.5 % | 28 %   | 27.5 % |
|                                          | 内臓脂肪症候群該当者割合 | 25.5 % | 25 %   | 24.5 % | 24 %   | 23.5 % | 23 %   |
|                                          | アウトプット指標     | R6年度   | R7年度   | R8年度   | R9年度   | R10年度  | R11年度  |
|                                          | 健診の受診勧奨      | 1 回    | 1 回    | 1 回    | 1 回    | 1 回    | 1 回    |
|                                          | 特定健診実施率      | 90 %   | 90 %   | 90 %   | 90 %   | 90 %   | 90 %   |

実施計画

| R6年度                                                                                                            | R7年度                                                                                                            | R8年度                                                                                                            |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ・下記A～Cの3プランを提供A特定健康診査（健保連集合契約） 無料 Bイーウェル特定健診 無料 Cイーウェル人間ドック 7,700円 BとCは、希望するがん検診（大腸、胃、前立腺、肺、乳がん、子宮頸がん）も併せて実施可能。 | ・下記A～Cの3プランを提供A特定健康診査（健保連集合契約） 無料 Bイーウェル特定健診 無料 Cイーウェル人間ドック 7,700円 BとCは、希望するがん検診（大腸、胃、前立腺、肺、乳がん、子宮頸がん）も併せて実施可能。 | ・下記A～Cの3プランを提供A特定健康診査（健保連集合契約） 無料 Bイーウェル特定健診 無料 Cイーウェル人間ドック 7,700円 BとCは、希望するがん検診（大腸、胃、前立腺、肺、乳がん、子宮頸がん）も併せて実施可能。 |
| R9年度                                                                                                            | R10年度                                                                                                           | R11年度                                                                                                           |
| ・下記A～Cの3プランを提供A特定健康診査（健保連集合契約） 無料 Bイーウェル特定健診 無料 Cイーウェル人間ドック 7,700円 BとCは、希望するがん検診（大腸、胃、前立腺、肺、乳がん、子宮頸がん）も併せて実施可能。 | ・下記A～Cの3プランを提供A特定健康診査（健保連集合契約） 無料 Bイーウェル特定健診 無料 Cイーウェル人間ドック 7,700円 BとCは、希望するがん検診（大腸、胃、前立腺、肺、乳がん、子宮頸がん）も併せて実施可能。 | ・下記A～Cの3プランを提供A特定健康診査（健保連集合契約） 無料 Bイーウェル特定健診 無料 Cイーウェル人間ドック 7,700円 BとCは、希望するがん検診（大腸、胃、前立腺、肺、乳がん、子宮頸がん）も併せて実施可能。 |

4 事業名 特定保健指導（被扶養者）（1ー㉔）

対応する健康課題番号 No.3 , No.5



事業の概要

|    |                                     |
|----|-------------------------------------|
| 対象 | 対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：基準該当者 |
| 方法 | -                                   |
| 体制 | -                                   |

事業目標

|                                                          |                        |        |        |        |        |        |        |
|----------------------------------------------------------|------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 特定保健指導実施率向上による生活習慣病のリスク保持者の生活習慣と健康状態を改善し、循環器系医療費の削減を目指す。 |                        |        |        |        |        |        |        |
| 評価指標                                                     | アウトカム指標                | R6年度   | R7年度   | R8年度   | R9年度   | R10年度  | R11年度  |
|                                                          | 特定保健指導対象者割合            | 6.5 %  | 6 %    | 5.5 %  | 5.5 %  | 5.5 %  | 5.5 %  |
|                                                          | 特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率 | 36.3 % | 36.3 % | 36.3 % | 36.3 % | 36.3 % | 36.3 % |
|                                                          | アウトプット指標               | R6年度   | R7年度   | R8年度   | R9年度   | R10年度  | R11年度  |
|                                                          | 特定保健指導実施率              | 60 %   | 60 %   | 60 %   | 60 %   | 60 %   | 60 %   |

実施計画

| R6年度                                                                                                                                                                                                                                                                                | R7年度                                                                                                                                                                                                                                                                                | R8年度                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ・対象者へのご案内を複数回行う。・特定保健指導の未実施者に対して スマートフォン等ICTを活用した 特定保健指導を実施する。・体重2キロ減少の効果が高く、完了率 が高い特定保健指導プログラムを選定 し、追加することで、対象者の選択肢を増やし、より効果的なプログラムを 提供する。・糖尿病重症化予防・腎臓病予防プログラムの対象者が特定保健指導の対象者で ある場合は、プログラム内で特定保健 指導が実施完了するようプログラムを 策定する。・特定保健指導が中断している者に対し て、健保組合から連絡し、最後まで保健 指導を継続して受けるように働きかけ る。 | ・対象者へのご案内を複数回行う。・特定保健指導の未実施者に対して スマートフォン等ICTを活用した 特定保健指導を実施する。・体重2キロ減少の効果が高く、完了率 が高い特定保健指導プログラムを選定 し、追加することで、対象者の選択肢を増やし、より効果的なプログラムを 提供する。・糖尿病重症化予防・腎臓病予防プログラムの対象者が特定保健指導の対象者で ある場合は、プログラム内で特定保健 指導が実施完了するようプログラムを 策定する。・特定保健指導が中断している者に対し て、健保組合から連絡し、最後まで保健 指導を継続して受けるように働きかけ る。 | ・対象者へのご案内を複数回行う。・特定保健指導の未実施者に対して スマートフォン等ICTを活用した 特定保健指導を実施する。・体重2キロ減少の効果が高く、完了率 が高い特定保健指導プログラムを選定 し、追加することで、対象者の選択肢を増やし、より効果的なプログラムを 提供する。・糖尿病重症化予防・腎臓病予防プログラムの対象者が特定保健指導の対象者で ある場合は、プログラム内で特定保健 指導が実施完了するようプログラムを 策定する。・特定保健指導が中断している者に対し て、健保組合から連絡し、最後まで保健 指導を継続して受けるように働きかけ る。 |
| R9年度                                                                                                                                                                                                                                                                                | R10年度                                                                                                                                                                                                                                                                               | R11年度                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| ・対象者へのご案内を複数回行う。・特定保健指導の未実施者に対して スマートフォン等ICTを活用した 特定保健指導を実施する。・体重2キロ減少の効果が高く、完了率 が高い特定保健指導プログラムを選定 し、追加することで、対象者の選択肢を増やし、より効果的なプログラムを 提供する。・糖尿病重症化予防・腎臓病予防プログラムの対象者が特定保健指導の対象者で ある場合は、プログラム内で特定保健 指導が実施完了するようプログラムを 策定する。・特定保健指導が中断している者に対し て、健保組合から連絡し、最後まで保健 指導を継続して受けるように働きかけ る。 | ・対象者へのご案内を複数回行う。・特定保健指導の未実施者に対して スマートフォン等ICTを活用した 特定保健指導を実施する。・体重2キロ減少の効果が高く、完了率 が高い特定保健指導プログラムを選定 し、追加することで、対象者の選択肢を増やし、より効果的なプログラムを 提供する。・糖尿病重症化予防・腎臓病予防プログラムの対象者が特定保健指導の対象者で ある場合は、プログラム内で特定保健 指導が実施完了するようプログラムを 策定する。・特定保健指導が中断している者に対し て、健保組合から連絡し、最後まで保健 指導を継続して受けるように働きかけ る。 | ・対象者へのご案内を複数回行う。・特定保健指導の未実施者に対して スマートフォン等ICTを活用した 特定保健指導を実施する。・体重2キロ減少の効果が高く、完了率 が高い特定保健指導プログラムを選定 し、追加することで、対象者の選択肢を増やし、より効果的なプログラムを 提供する。・糖尿病重症化予防・腎臓病予防プログラムの対象者が特定保健指導の対象者で ある場合は、プログラム内で特定保健 指導が実施完了するようプログラムを 策定する。・特定保健指導が中断している者に対し て、健保組合から連絡し、最後まで保健 指導を継続して受けるように働きかけ る。 |

| 達成しようとする目標／特定健康診査等の対象者数 |           |         |                          |                          |                          |                          |                          |                          |
|-------------------------|-----------|---------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
|                         |           |         | 令和6年度                    | 令和7年度                    | 令和8年度                    | 令和9年度                    | 令和10年度                   | 令和11年度                   |
| 特定健康診査実施率               | 計画値<br>※1 | 全体      | 12,427 / 13,808 = 90.0 % | 12,688 / 14,098 = 90.0 % | 12,958 / 14,398 = 90.0 % | 13,235 / 14,705 = 90.0 % | 13,519 / 15,022 = 90.0 % | 13,812 / 15,346 = 90.0 % |
|                         |           | 被保険者    | 7,520 / 8,355 = 90.0 %   | 7,735 / 8,594 = 90.0 %   | 7,957 / 8,841 = 90.0 %   | 8,184 / 9,094 = 90.0 %   | 8,419 / 9,354 = 90.0 %   | 8,660 / 9,622 = 90.0 %   |
|                         |           | 被扶養者 ※3 | 4,908 / 5,453 = 90.0 %   | 4,953 / 5,504 = 90.0 %   | 5,001 / 5,557 = 90.0 %   | 5,050 / 5,612 = 90.0 %   | 5,101 / 5,667 = 90.0 %   | 5,152 / 5,724 = 90.0 %   |
|                         | 実績値<br>※1 | 全体      | - / - = - %              | - / - = - %              | - / - = - %              | - / - = - %              | - / - = - %              | - / - = - %              |
|                         |           | 被保険者    | - / - = - %              | - / - = - %              | - / - = - %              | - / - = - %              | - / - = - %              | - / - = - %              |
|                         |           | 被扶養者 ※3 | - / - = - %              | - / - = - %              | - / - = - %              | - / - = - %              | - / - = - %              | - / - = - %              |
| 特定保健指導実施率               | 計画値<br>※2 | 全体      | 1,216 / 2,026 = 60.0 %   | 1,241 / 2,068 = 60.0 %   | 1,267 / 2,111 = 60.0 %   | 1,294 / 2,157 = 60.0 %   | 1,322 / 2,204 = 60.0 %   | 1,350 / 2,251 = 60.0 %   |
|                         |           | 動機付け支援  | 582 / 970 = 60.0 %       | 594 / 990 = 60.0 %       | 606 / 1,010 = 60.0 %     | 619 / 1,032 = 60.0 %     | 633 / 1,055 = 60.0 %     | 646 / 1,077 = 60.0 %     |
|                         |           | 積極的支援   | 634 / 1,056 = 60.0 %     | 647 / 1,078 = 60.0 %     | 661 / 1,101 = 60.0 %     | 675 / 1,125 = 60.0 %     | 689 / 1,149 = 60.0 %     | 704 / 1,174 = 60.0 %     |
|                         | 実績値<br>※2 | 全体      | - / - = - %              | - / - = - %              | - / - = - %              | - / - = - %              | - / - = - %              | - / - = - %              |
|                         |           | 動機付け支援  | - / - = - %              | - / - = - %              | - / - = - %              | - / - = - %              | - / - = - %              | - / - = - %              |
|                         |           | 積極的支援   | - / - = - %              | - / - = - %              | - / - = - %              | - / - = - %              | - / - = - %              | - / - = - %              |

※1) 特定健康診査の（実施者数）／（対象者数）

※2) 特定保健指導の（実施者数）／（対象者数）

※3) 特定健診の対象となる被扶養者数には、強制被扶養者、任意継続被扶養者、特例退職被扶養者、任意継続被保険者、特例退職被保険者を含めてください。

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>目標に対する考え方（任意）</b></p> <p>国から示された第4期特定健診等の目標実施率は、特定健康診査は90%以上、特定保健指導は60%以上である。</p> <p>当健保組合の令和4年度の特定保健指導の実施率は国から示された目標実施率を下回っていることから、当健保組合は、「特定健診・特定保健指導の実施率の向上」を保健事業の最重要課題と位置付け、事業主との協働実施（コラボヘルス）を有効的に活用するなどにより、第4期特定健診・特定保健指導実施計画の目標達成に努めることとする。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p><b>特定健康診査等の実施方法</b></p> <p>【特定健康診査】</p> <p>(1) 実施場所<br/>被保険者は、委託先の三者契約健診機関又は、当健保組合の健康管理センターで受診する。<br/>被扶養者（一般被扶養者、特例退職及び任意継続被保険者、被扶養者）は、業務委託している株式会社イーウェルの提携健診機関で受診する。</p> <p>(2) 実施項目<br/>原則として、特定健診の健診項目を含んだ人間ドックを実施する。</p> <p>(3) 実施時期<br/>実施時期は、通年とする。</p> <p>(4) 受診等方法<br/>（一般被保険者）</p> <p>① 被保険者（特例退職被保険者及び任意継続被保険者を除く。）は、事業主の定期健康診断と共同実施で行うため、各事業所からの案内に基づいて受診する。</p> <p>② 被保険者は、特定健康診査を含む人間ドックの受診者負担は無料とする。ただし、健保が実施するがん検診以外のオプション検査は全額自己負担とする。</p> <p>（被扶養者、特例退職被保険者及び任意継続被保険者）</p> <p>① 被扶養者、特例退職被保険者及び任意継続被保険者は、（株）イーウェルのサイトで発行した受診券を予約した健診機関等に被保険者証とともに提出して受診する。</p> <p>② 被扶養者（一般被扶養者、特例退職及び任意継続被保険者、被扶養者）が人間ドックを受診した場合は7700円を自己負担とする。</p> <p>【特定保健指導】</p> <p>(1) 実施場所<br/>当健保健康管理センター（当健保健康管理センターで健診を受診した者のみ）または、委託先の健診実施機関、ICTを活用した特定保健指導業者（株式会社エス・エム・エス、株式会社RIZAP）で行う。</p> <p>(2) 実施時期<br/>実施時期は、通年とする。</p> <p>(3) 受診等方法</p> <p>① 特定健診結果に基づく特定保健指導の対象者に対して、健診実施機関の医師及び保健師等を活用して特定保健指導を実施する。</p> <p>② 特定保健指導の未実施者に対してスマートフォン等ICTを活用した特定保健指導を実施する。</p> <p>③ 対象者のうち特定保健指導未実施者への受診勧奨を複数回行う。</p> <p>④ 特定保健指導受診の受診者負担は無料とする。</p> <p>【その他】</p> <p>(1) 委託の特例<br/>被保険者が遠隔地にいる場合など、三者契約医療機関等での受診が困難である場合は、代表医療保険者を通じて健診機関の全国組織との集合契約を結び、代行機関として社会保険診療報酬支払基金（以下、「支払基金」という。）を利用して決済を行い、全国での受診が可能となるよう借置する。</p> <p>(2) 周知及び案内方法<br/>特定健康診査及び特定保健指導に関する情報の周知及び案内は、各事業所を通じて行うほか、当健保組合の機関紙等に掲載するとともにホームページに掲載して行う。</p> <p>(3) 特定健康診査データの受領方法<br/>特定健康診査のデータは、三者契約医療機関等から電子データとして随時（又は月単位）受領して、当組合で保管する。<br/>また、外部委託機関で実施した特定保健指導のデータについても同様に電子データで受領するものとする。なお、保管年数は当健保組合が実施した分も含め、5年とする。</p> |
| <p>※特定健診・特定保健指導の事業計画の欄に、第3期データヘルス計画書STEP3から自動反映されている場合は任意</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p><b>個人情報の保護</b></p> <p>特定健康診査等の事業の実施に当たっては、電通健康保険組合個人情報保護管理規定を遵守する。</p> <p>外部委託先を含む契約企業に対しては、個人情報の厳重な管理や目的外使用の禁止等を委託契約書に明記する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p><b>特定健康診査等実施計画の公表・周知</b></p> <p>本計画の周知は、機関誌やホームページに掲載することにより行う。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <p><b>その他（特定健康診査等実施計画の評価及び見直しの内容等）</b></p> <p>当計画については、3年間の評価を行い、目標と大きくかけ離れた場合、その他必要がある場合には見直すこととする。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |